

5/27号福

児童手当第3子3万円対象

「0歳〜高校生」に拡大案

政府は「次元の異なる少子化対策」の柱の児童手当拡充を巡り、第三子以降の支給を三万円に増やす対象

児童手当拡充のイメージ

3歳未満	月額 1万5000円
3歳以上～小学生	1万円 <small>【第3子以降 1万5000円】</small>
中学生	1万円
高校生	なし ▶1万円

年齢を拡大する検討に入った。当初の「三歳から小学生」を「0歳から高校生」とする案が浮上した。関係者が二十六日、明らかにした。

現行の児童手当は三歳未満の子ども一人につき月額一万五千元、三歳から小学生までは一万円（うち第三子以降は一万五千元）、中学生は一律二万円が支給される。所得制限を超えた一部の世帯は減額または不支給。

政府は、新たに高校生も

月額二万円を支給する方針を固めている。多子世帯の第三子以降は、0歳から高校生まで三万円を支給する案を検討する。当初は、三

歳から小学生までに限る考えだった。多子世帯への経済支援をより強める狙い。

政府は三月末に公表した少子化対策の試案で、児童手当の拡充を明記していた。具体的な対象や金額は「こども未来戦略会議」（議長・岸田文雄首相）が六月にまとめる考え方に盛り込み、経済財政運営の指針「骨太方針」に反映させる。